

前田研究室2008年度卒論テーマ

2007年2月4日 構造系卒論テーマ説明会
個別説明会: 2月5日(火)15時~, 12日(火)11時~
55N903号室, 以後随時

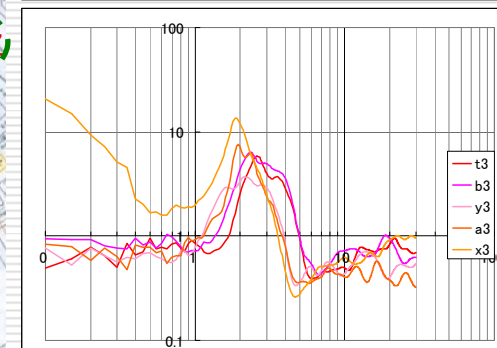
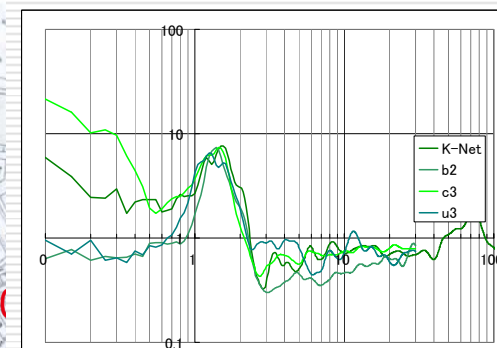
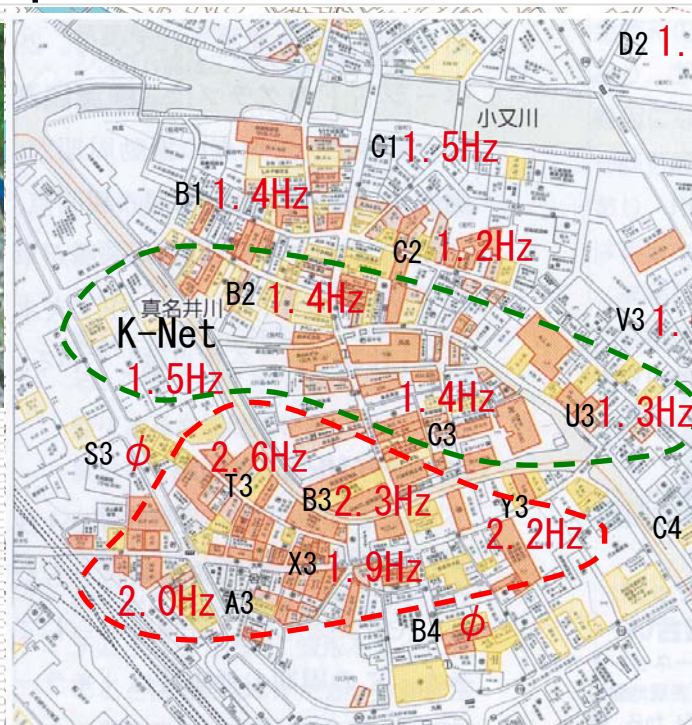
<http://www.tmaeda.sci.waseda.ac.jp>

研究テーマ

- 地盤および地震動に関する研究
 - 断層破壊を考慮した入力地震動予測
 - 入力地震動予測のための表層地盤構造の推定
 - 地震被害分布のシミュレーション
 - 交通振動に対する建物応答の推定
 - 周辺地盤が建物応答に及ぼす影響のエネルギー評価
- 特殊構造物の耐力評価に関する研究
 - 歴史的組積造構造物の耐力評価シミュレーション
 - 空積み組積造の応答特性に関する模型実験
 - 大規模レンガ造煙突の耐震安全性の評価
 - 鉄筋コンクリートシェルの加力実験

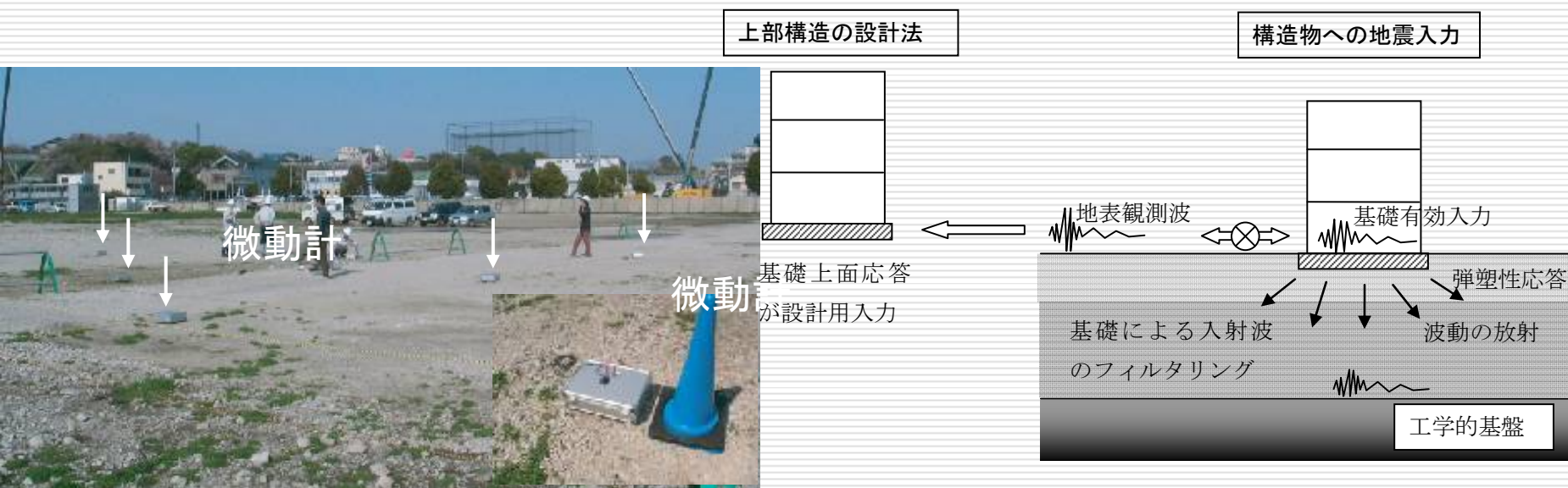
地盤および地震動に関する研究(1)

- 入力地震動予測のための表層地盤構造の推定
- 地震被害分布のシミュレーション



地盤および地震動に関する研究(2)

- 交通振動に対する建物応答の推定
- 周辺地盤が建物応答に及ぼす影響のエネルギー評価



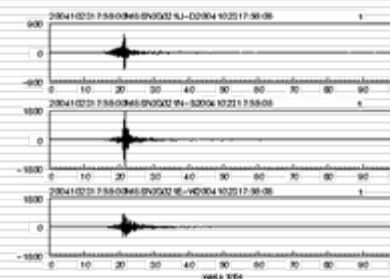
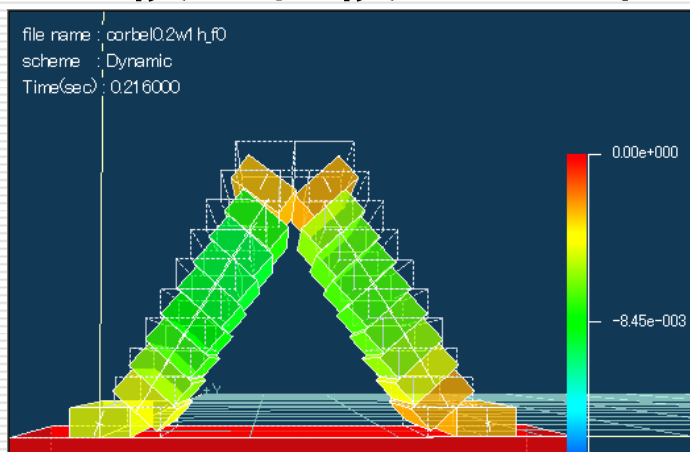
特殊構造物の耐力評価に関する研究(1)

- 歴史的組積造構造物の耐力評価シミュレーション
- 大規模レンガ造煙突の耐震安全性の評価



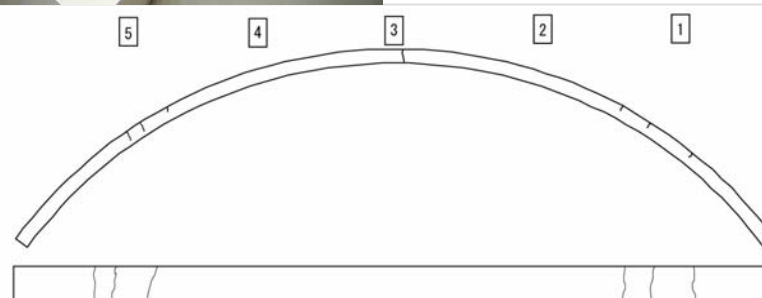
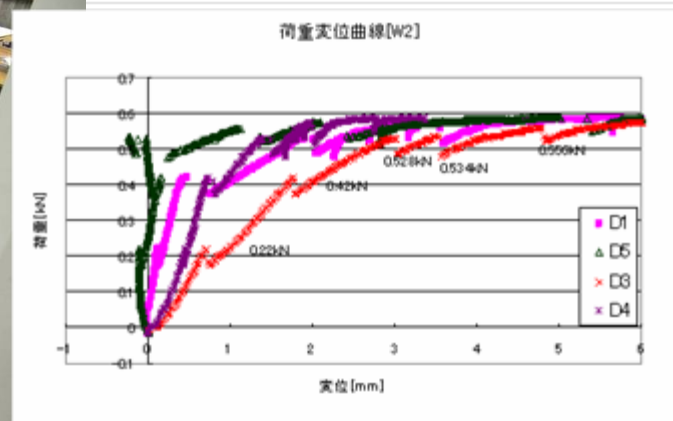
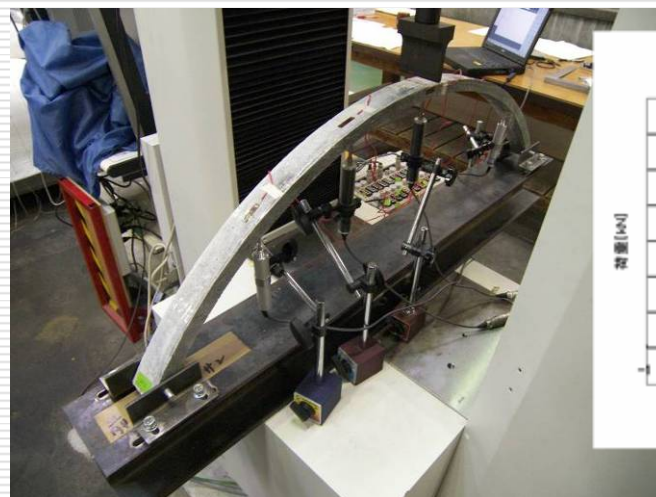
特殊構造物の耐力評価に関する研究(2)

□ 空積み組積造の応答特性に関する模型実験



特殊構造物の耐力評価に関する研究(3)

鉄筋コンクリートシェルの加力実験



研究の進め方

- 本人が納得できる卒論・修論を書く。
 - 卒論テーマと修論テーマのオーバーラップを避ける.
 - 年度末にM2から卒論生に類似分野の成果を引継ぐ.
 - 国内学会および国際会議での学生発表を推進する.
- 学年ごとの目標に相応しいゼミを行う。
 - 卒論生は研究の雰囲気を知ること
 - 開発言語C++, 和文教科書, 卒論作成
 - M1は基礎的な勉強をすること
 - 英文教科書, 研究論文
 - M2は修論に注力すること
 - 研究論文, 修論作成

2008年度卒論生スケジュール

- 3月
 - 準備(PC, 机等)
- 4月
 - C++ゼミ開始
 - 修士推薦出願
- 5月
 - 専門ゼミ開始
 - 修士推薦面接
- 6月
 - 中間報告会(追分セミナーハウス)
- 7月
 - 修士一般入試
- 8月～10月
 - 卒論研究に集中
- 11月
 - 卒論発表会
- 12月～1月
 - 卒業計画に集中
- 2月
 - 卒業計画提出
 - 修論発表会
- 3月
 - M2成果の引継ぎ
 - 建築学会大会投稿
 - 学部卒業